

生産性、効率性、柔軟性を高める ChangeMan ZMF for Eclipse

メインフレーム上の大規模で極めて複雑なエンタープライズアプリケーションについては、堅牢なビルド管理、展開、リリース機能が企業全体で求められます。さらに、銀行業、金融サービス、保険業といった業界のエンタープライズアプリケーションでは、ソフトウェア変更管理において特定のコンプライアンス要件が設けられ、厳しく規制されています。Micro Focus® ChangeMan ZMF は、エンタープライズソフトウェアリポジトリに関するこのような要求を常に満たしてきました。

一方で、従来のエンタープライズ向けのプログラミング言語は今日のアプリケーション開発に即しているとはいえません。Java は、大規模なエンタープライズレベルのソフトウェア開発に適した言語として、その地位を確立しています。また、数多くの OS プラットフォームに対応し、あらかじめビルドされたソフトウェア開発ツールキット (SDK)、ソフトウェアライブラリ、コードジェネレータ、デバッグ、テストツール、自動文書化ツール、その他の開発ツールなどを備えた Java は、ク

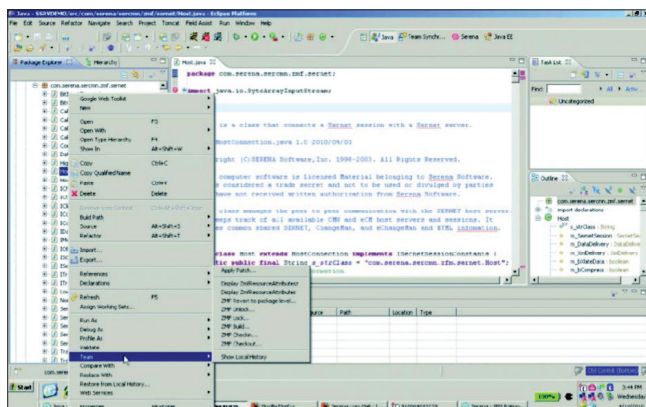
ロスプラットフォームおよび Web 対応のアプリケーション開発に適した生産性の高い言語としてみなされるようになります。

これらのアプリケーション向けに、ChangeMan ZMF および Micro Focus ChangeMan ZMF for Eclipse は、z/OS Unix 階層ファイルシステム (HFS) を個別の開発ライブラリとしてサポートし、またベースライン、ステージング、プロモーション、運用ライブラリにも対応しています。HFS ライブラリはロングファイルネームと Java クラスパスをネイティブサポートしています。

さらに、ZMF for Eclipse においては、[チーム] コンテキストメニューを介して ChangeMan-ZMF 機能と Java 仕様のワークベンチをネイティブに統合することで、Java の生産性が強化されています。Java の開発者コミュニティでは、開発プラットフォーム

z/OS 向けの最新の開発環境

- Eclipse Workbench のネイティブサポートおよび IBM の Rational Developer for System z (RDz) のサポート
- ChangeMan ZMF のバージョン管理、ビルド管理、リリースおよび展開機能との統合
- ChangeMan ZMF の複数サイトへのアクセスに単一のワークベンチアクセスポイントを使用し、同時進行の開発作業を簡素化
- ChangeMan ZMF および Dimensions CM 向けの単一仕様および Explorer
- メインフレームのソフトウェア資産の操作と管理を簡素化
- 従来および最新のプログラミング言語をサポート



としてオープンソースの Eclipse Workbench IDE を広く採用しているため、Eclipse との統合は重要です。

機能

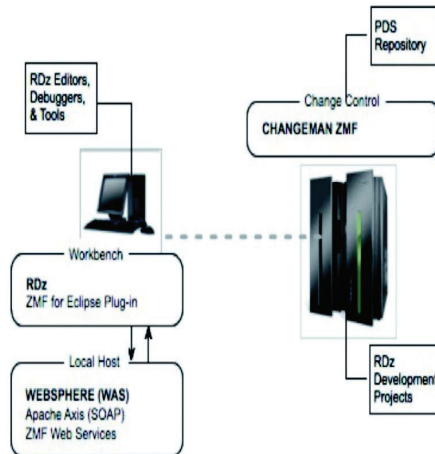
- ChangeMan ZMF ライフサイクルのフルサポート
- ChangeMan ZMF Enterprise Release Option (ERO) のサポート
- Eclipse Workbench および IBM の Rational Developer for System Z (RDz)
- Java、COBOL、Assembler およびその他のプログラミング言語とメインフレーム資産
- HFS/ZFS および z/OS ファイルシステム
- z/OS 上の JES ジョブキューへのアクセス
- メインフレームにジョブまたは ZMF XML Services のデータストリームを送信して実行
- SAF、RACF、ACF2、Top Secret に対応
- 一元的なクライアント設定サポート

レガシメインフレームアプリケーションの活用を可能にする統合

DB2 でビルドされたアプリケーションを含む、エンタープライズメインフレームの旧式の COBOL アプリケーションを維持するために、IBM Rational Developer for System z (RDz) ワークベンチは、開発、デバッグ、テスト用に、使いやすい GUI を備え、種類も豊富でパワフルなツールセットを提供します。Eclipse をベースに構築された RDz 開発ツールは、ChangeMan ZMF の持つエンタープライズ規模の堅牢なソフトウェア変更管理、ビルド管理、開発機能を補完します。

ChangeMan ZMF for Eclipse を使用することによって、開発者は ChangeMan ZMF リポジトリベースラインからソースコード、

JCL、関連の DB2 プラン、アーティファクトをチェックアウトし、RDz 開発プロジェクトに移行することができます。RDz を使用したアプリケーションコードの開発とテスト作業が完了すると、開発者は豊富に揃った ChangeMan ZMF コマンドを活用して、メインフレームに変更をチェックイン、フリーズ、展開することができます。この作業は常に安全かつ正確に行われ、監査証跡が残されます。



ChangeMan ZMF for Eclipse は、メインフレーム上にある個別の開発ライブラリすべてのソフトウェアリソース、および ZMF リポジトリのベースライン、ステージング、プロモーションライブラリについて、設定可能な統一ビューを提供します。Eclipse プラグインと共にインストールされた Micro Focus 提供のエディタを使って、デスクトップ上で圧縮済みの出力リストを Micro Focus 仕様で表示できます。プロジェクトリソースは、RDz の z/OS Explorer ビューでアクセスでき、JES ジョブキューのジョブ出力は、いずれのビューでもアクセスできます。ChangeMan ZMF for Eclipse があれば、コストを削減し、生産性を強化し、最新のメインフレームアプリケーションを開発できます。